

木樹脂® スクリーン門扉 取付説明書

- この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行なってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行なってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

施工時の注意事項

新日軽のアルミ製品はJISの表面処理規定を十分クリアした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異常腐食を起こし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点をご注意ください。

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
- モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- 基礎施工は、地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱位置決めてください。また、寒冷地はその地域にあった基礎工事を行ってください。
- 地盤が軟弱な場合は、柱の埋め込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
- 外開きタイプは、開閉時に扉が公道（道路面）等へ飛び出さない位置に設置してください。
- 電装商品の場合は、配線工事を有資格の専門業者に依頼してください。
- 施工完了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合が無いか確認してください。
- みだりに改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。



使用上のご注意について

- 樹脂は弱酸、弱アルカリ、食塩水、アルコール（水でうすめたもの）には優れた抵抗性をもっていますが、濃酸、濃アルカリ、また、シンナー、ベンジン等の有機溶剤や石油類は使用しないでください。
- スクリーンの近くで殺虫剤、除草剤は使用しないでください。スプレータイプで石油系、フロン系の場合、接触すると変形、割れを生じることがあります。

- 微小火源には着火しにくくなっていますが、火気には十分にご注意ください。また、70℃以上になると変形しますので、近くで焚き火をしたり高温のものを近づけたりしないでください。
- 通常使用しない場合には、必ず施錠してください。また、落し棒のついている商品は落し棒も同時に下ろしてください。
- 開閉時には手足・衣服などをはさまないように、注意してください。
- 扉に物を載せないでください。
- 扉を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。

樹脂製品のお手入れ方法について

- 汚れ、ホコリが付着した場合には、軽く水で流すかテープ等の接着面でたたかのようにしてください。
- 年に数回の水洗いと、空ぶきだけでも効果的です。ただし、工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。
- 汚れが軽い場合：やわらかい布かスポンジで水ぶきしたあとに空ぶきしてください。
- 汚れが目立つ場合：中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、洗剤が残らないように水洗いしてから、空ぶきしてください。

※「木樹脂」は新日軽の登録商標です。

もくじ

梱包明細.....	2	4. 門扉の吊り込み.....	12
各部の名称.....	2	4-1 ヒジツボと持ち送りの向き確認.....	12
納まり図.....	4	4-2 ヒジツボの取付け.....	12
施工の要点と注意事項.....	5	4-3 縦框キャップの取付け.....	12
1. 門柱部品の取付け.....	7	4-4 門扉の吊り込み.....	13
1-1 ヒンジの取付け.....	7	4-5 ヒンジの調整.....	13
1-2 90°専用ちり隠しの取付け.....	7	5. 吊り込み後の作業.....	14
1-3 インターホンの取付け（※現場手配）.....	8	5-1 錠の取付け.....	14
2. 門柱の設置.....	9	5-2 落し受けツボの埋め込み.....	14
3. 機能付袖扉の組立て.....	10	5-3 戸当りの取付け.....	15
3-1 たて型ポストの取付け.....	10	5-4 梁・門柱キャップの取付け.....	15
3-2 表札の取付け.....	11	6. 落し棒の操作.....	16
3-3 孔ふさぎカバーの取付け.....	11	施工工事店様、販売店様へのお願い.....	16

梱包明細

- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いが確認してください。
- 説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

梱包内容明細

表内の（ ）は個数を表しています。

梱包名称		梱包内容
門扉	親扉 (W=800)	本体 (1)・落とし受けツボ (1)・縦框キャップ (2)・セムスビス (2)
	子扉 (W=400)	本体 (1)・落とし受けツボ (1)・縦框キャップ (2)・セムスビス (2)
	機能付袖扉 (W=400)	本体 (1)・落とし受けツボ (1)・縦框キャップ (2)・セムスビス (2)・袖扉部品セット (1)
柱	門扉取付柱	門柱 (1)・セット部品 (1)・インターホン取付ビス (2)・取付説明書 [ME-1525]
	ちり隠し (90° 専用)	つり元カバー (1)・バックアップライナー (6)・φ4×19セルフドリリングビス (6)
梁		梁 (1)・セット部品 (1)
錠	NB 型錠	錠本体 (1組)・鍵 (3)・ビスセット (1)・取付説明書 [ME-1316] (1)
ヒンジセット	形材門扉用	ヒンジ (2組)・ビスセット (1)・取付説明書 [ME-1324] (1) ※ ¹
戸当りセット	木粉入り樹脂	戸当り (1)・ビスセット (1)

※ 1. ヒンジセットに梱包されている取付説明書 [ME-1324] は使用しないでください。

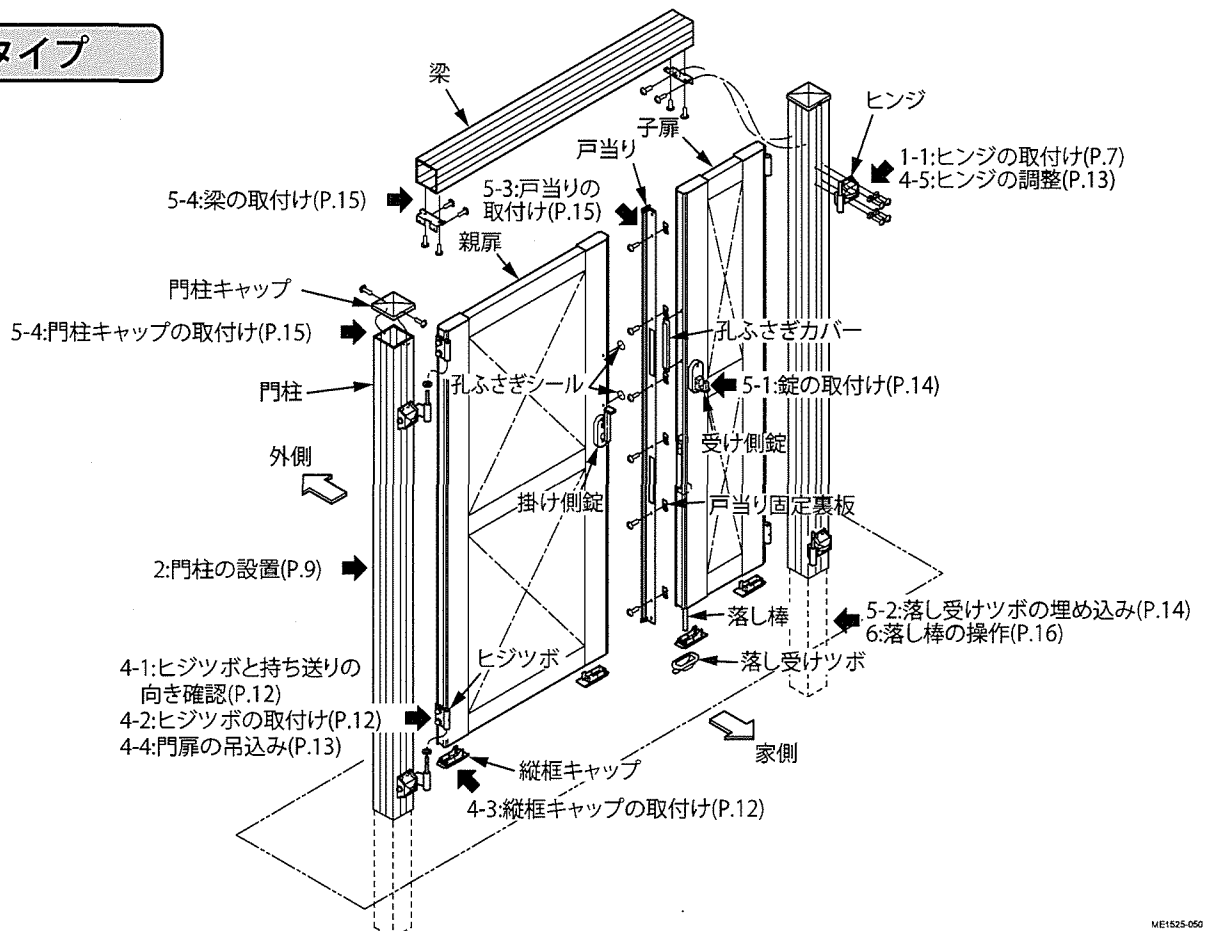
●別売品

梱包名称	梱包内容
たて型ポスト	本体 (1)・取付説明書 [ME-1749] (1)
ダイヤル錠	ダイヤル錠 (1)・ビス (1式)・取付説明書 [ME-1526] (1)
表札	本体 (1)・取付ビス (2)・シール (1)

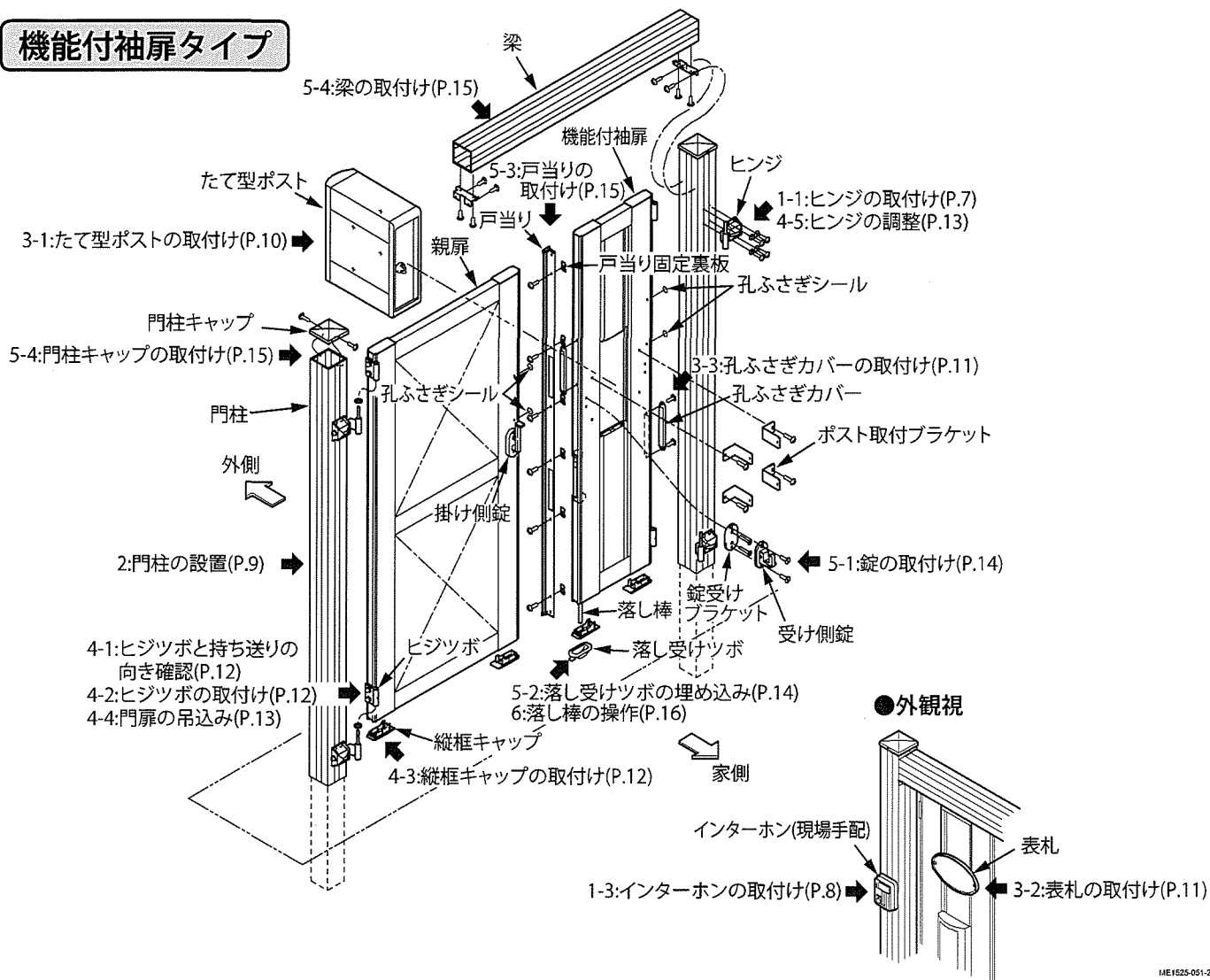
各部の名称

- 組立施工および調整の説明項目を示しています。施工作業前に確認してください。
- ※（ ）内は説明ページを示しています。

標準タイプ

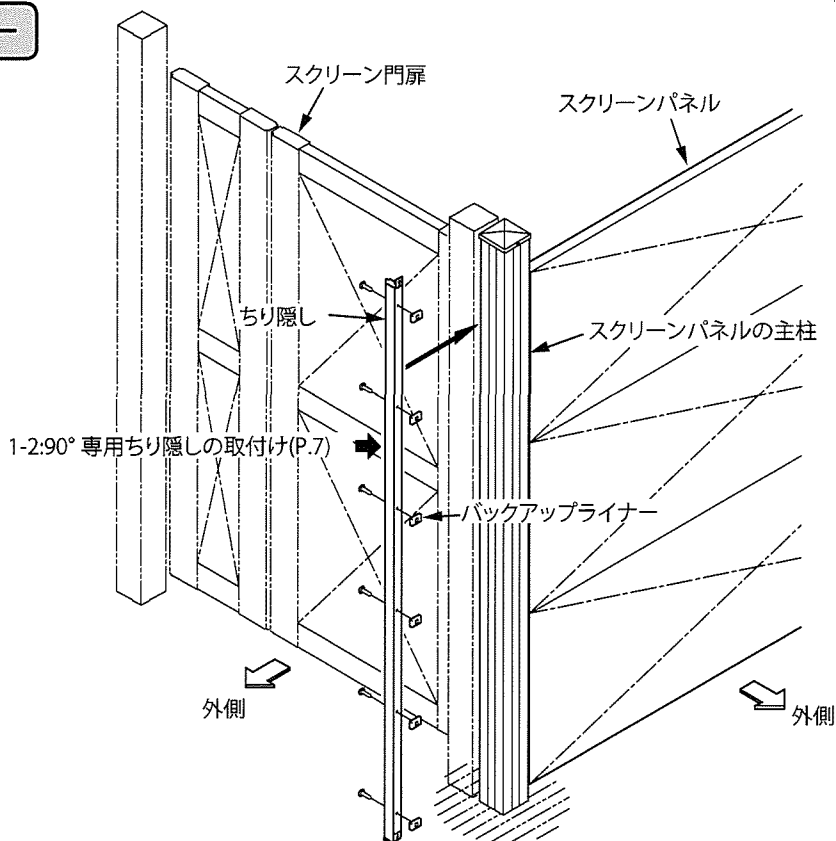


機能付袖扉タイプ



ME1625-051-2

90° 出隅コーナー

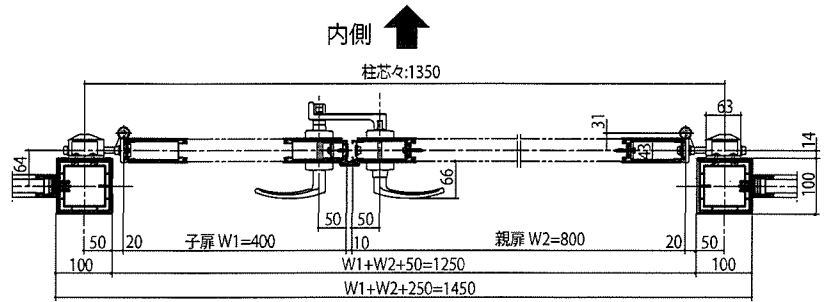
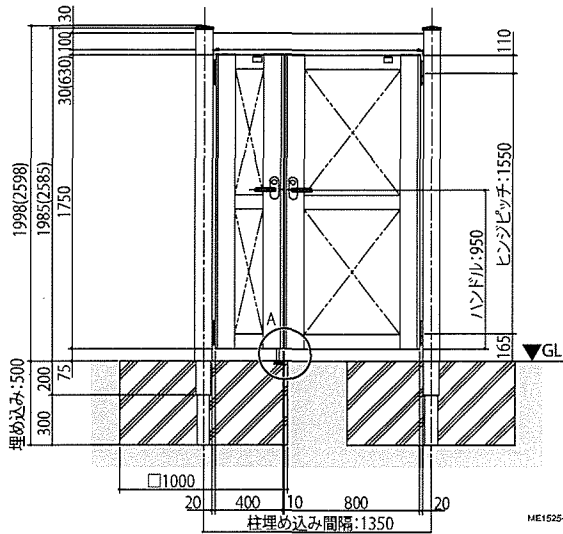


ME1625-052

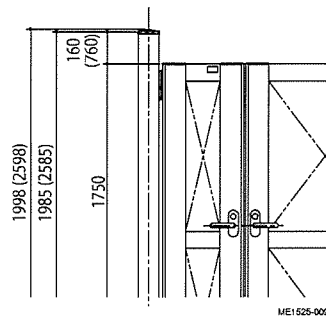
納まり図

●下記納まり図は、H:2000・「梁あり」の外観図です。
 ※ () 内寸法は、H:2600 の場合を示しています。

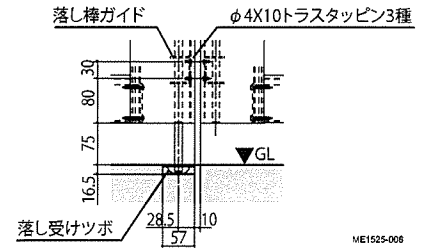
標準タイプ



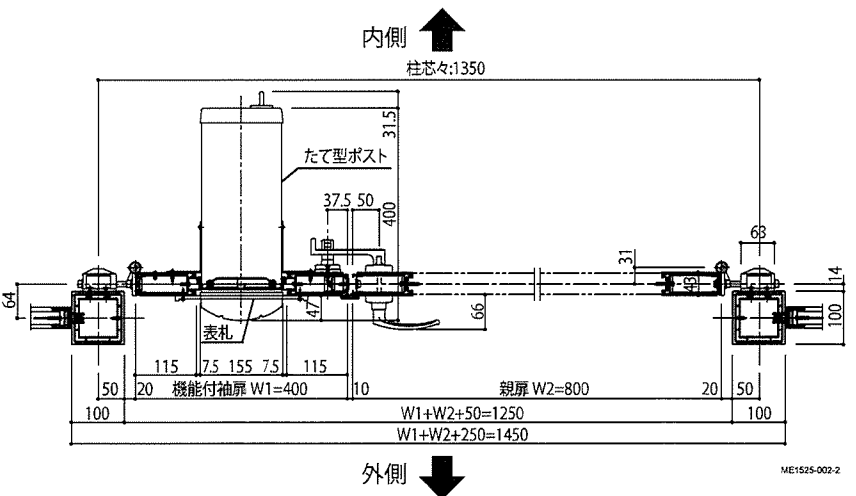
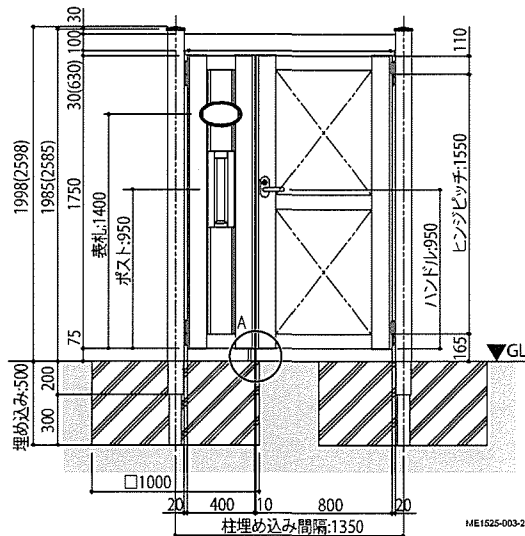
●梁なしの場合



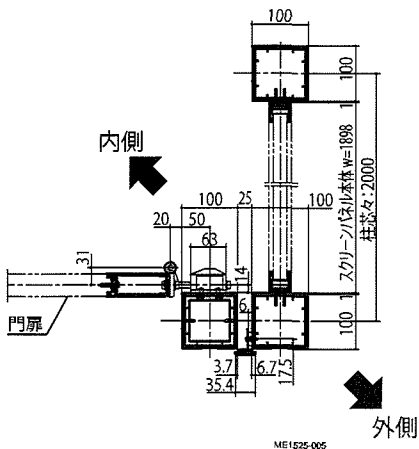
●A部詳細



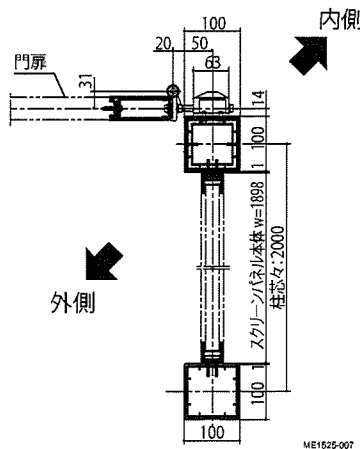
機能付袖扉タイプ



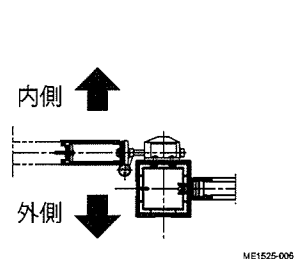
90° 出隅コーナー部



90° 入隅コーナー部



外開きヒンジ部



施工の要点と注意事項

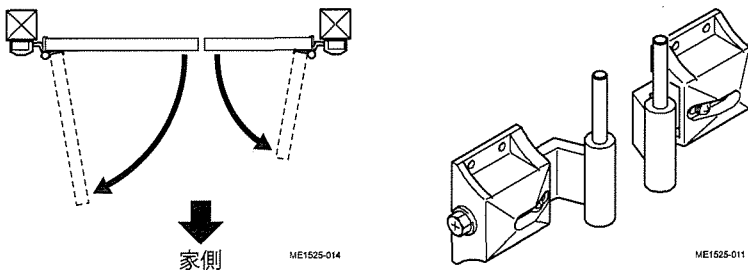
●施工前に必ず確認してください。

開きの確認

- 施工前に、門扉の開き勝手を確認してください。
- ※当社のヒンジは現場で組替えを行うだけで、「内開き」・「外開き」・「内外開き」に対応できます。

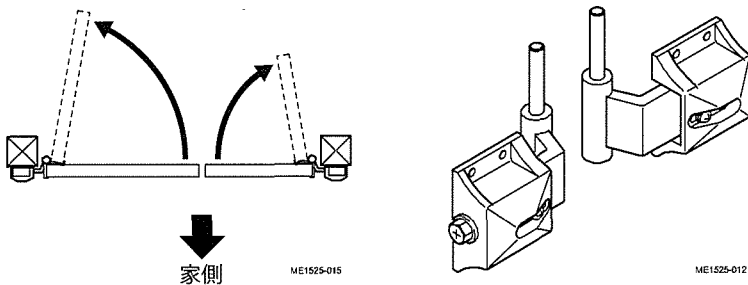
■内開き

- 梱包セット状態のまま取付けてください。



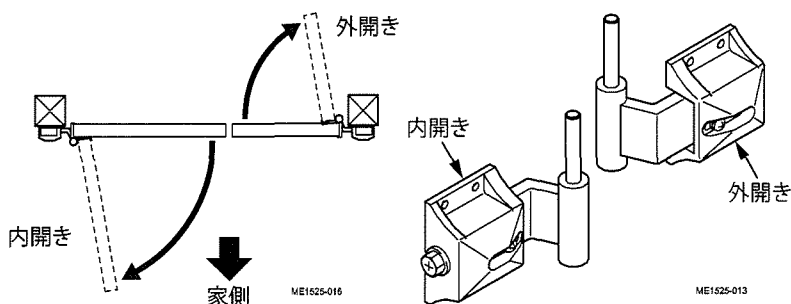
■外開き

- 「ヒンジの組替え方法」を参照して、ヒンジを組替えてください。



■内外開き

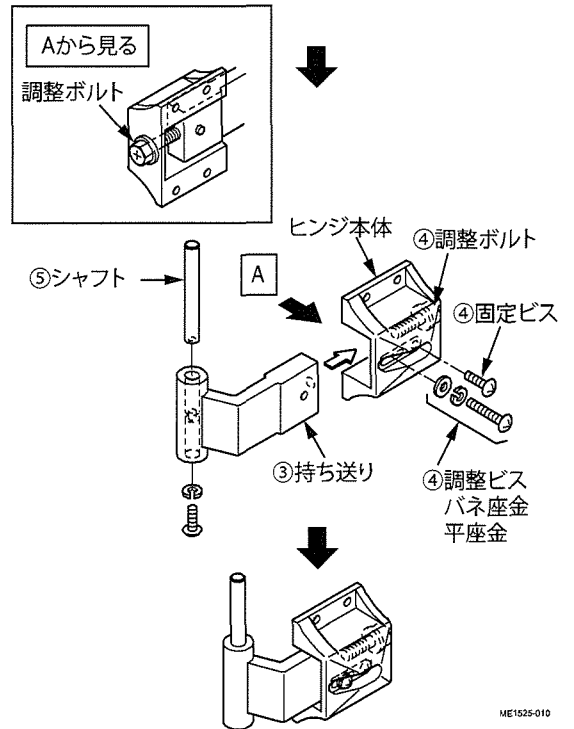
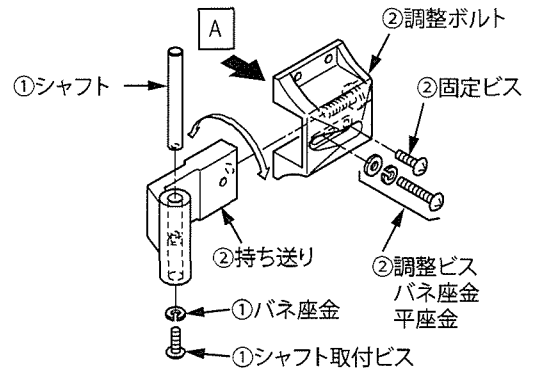
- 「ヒンジの組替え方法」を参照して、外開き扉側のヒンジを組替えてください。



■ヒンジの組替え方法

※外観視左側のヒンジを、外開きにする場合を説明します。

- ①取付ビスを外し、シャフトを取外してください。
- ②ビスを外し、調整ボルトを緩め、持ち送りを取外してください。
- ③持ち送りを反転し、ヒンジ本体に取付けてください。
- ④調整ボルトおよび調整ビスで持ち送りの位置を調整し、固定ビスで固定してください。
- ⑤シャフトを取付けてください。

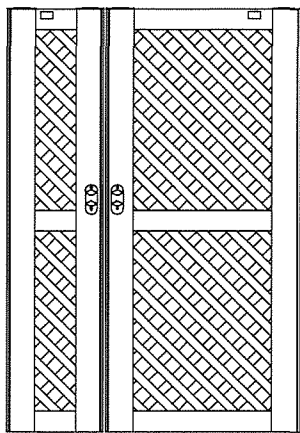


ME1525-010

勝手の確認

■ 5型密ラチス扉

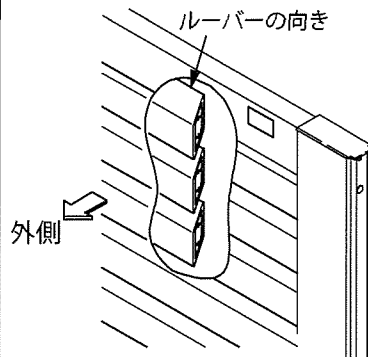
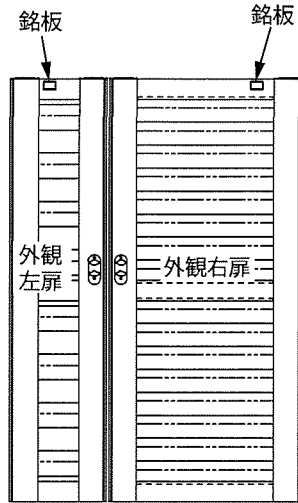
ラチスパネルには、表裏・左右勝手がありません。



ME1525-020

■ 7型横格子扉・3型ルーバー扉

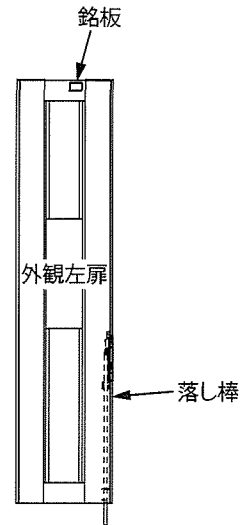
横格子およびルーバー扉には、表裏・左右勝手があります。銘板取付側が外側になります。ルーバーの向きにも注意してください。



ME1525-021

■ 機能付袖扉

機能付袖扉は、落とし棒を付替えることにより、左右勝手を変更できます。
※表裏はありますので、銘板貼付側を外側にしてください。




ME1525-301

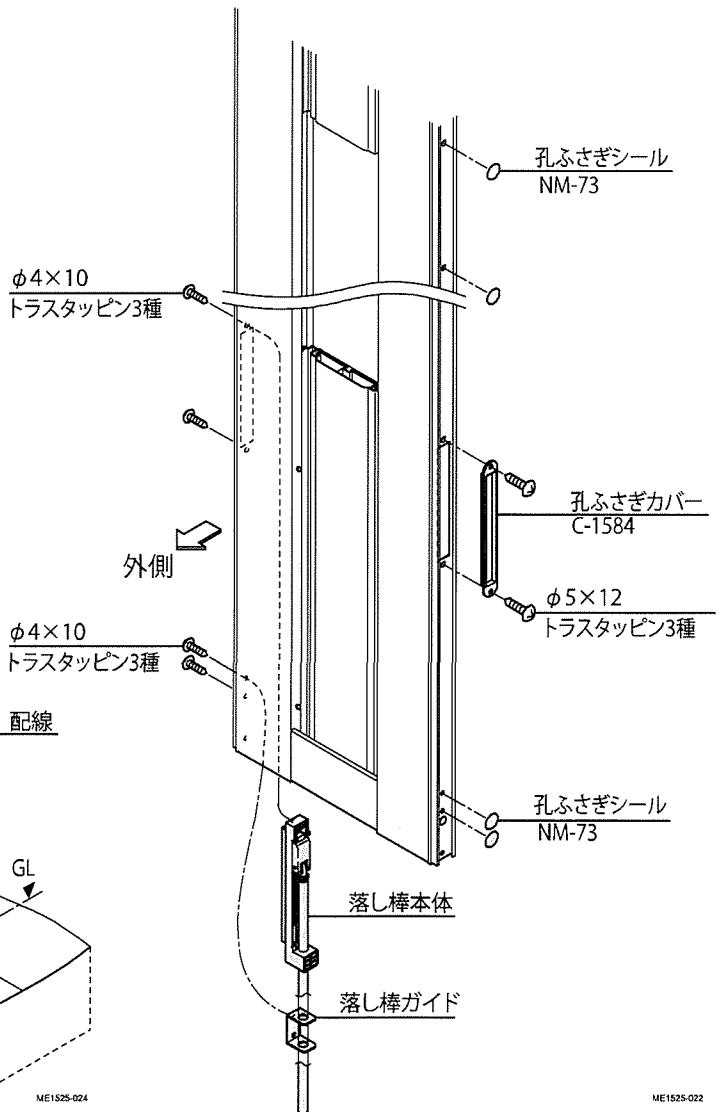
落とし棒の付替え（機能付袖扉の場合）

左右勝手を確認し、必要があれば、下記の要領で落とし棒を付替えてください。

- ① 落とし棒ガイドと落とし棒本体を取外してください。

 取外したビスは、取付時に使用するので、なくさないでください。

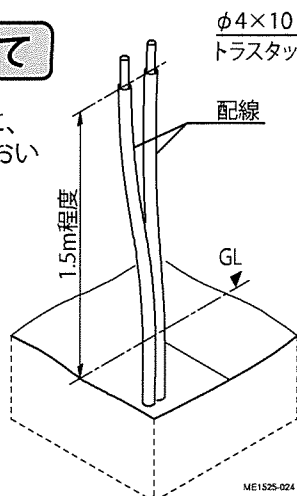
- ② 逆の手順で、落とし棒を反対側の縦框に付替えてください。
- ③ 落とし棒と反対側の縦框に、孔ふさぎカバーと孔ふさぎシールを取付けてください。



ME1525-022

インターホン用配線について

インターホンを取付ける場合、施工前に、配線をGLより1.5m程度立ち上げておいてください。



ME1525-024

1

門柱部品の取付け

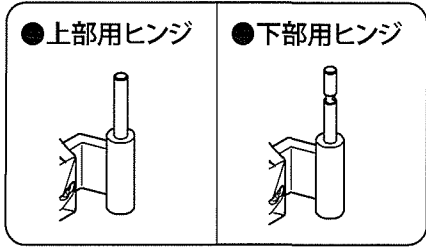
1-1 ヒンジの取付け

※下図は、両側の扉が内開きの場合を示しています。

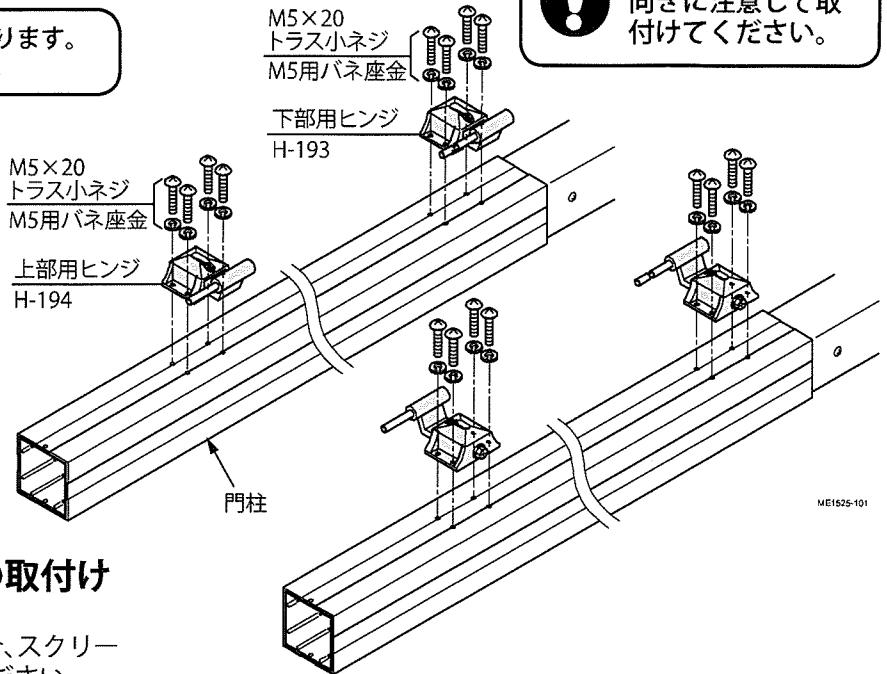
①ヒンジを門柱に取付けてください。

! ヒンジ持ち送りの向きに注意して取付けてください。

👉 ヒンジには、上部用と下部用があります。上下を確認して取付けてください。



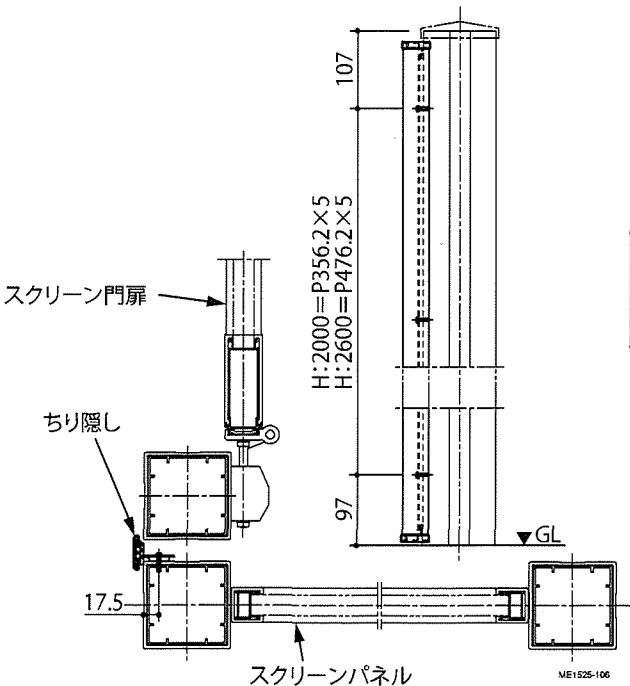
ME1525-102



ME1525-101

1-2 90° 専用ちり隠しの取付け

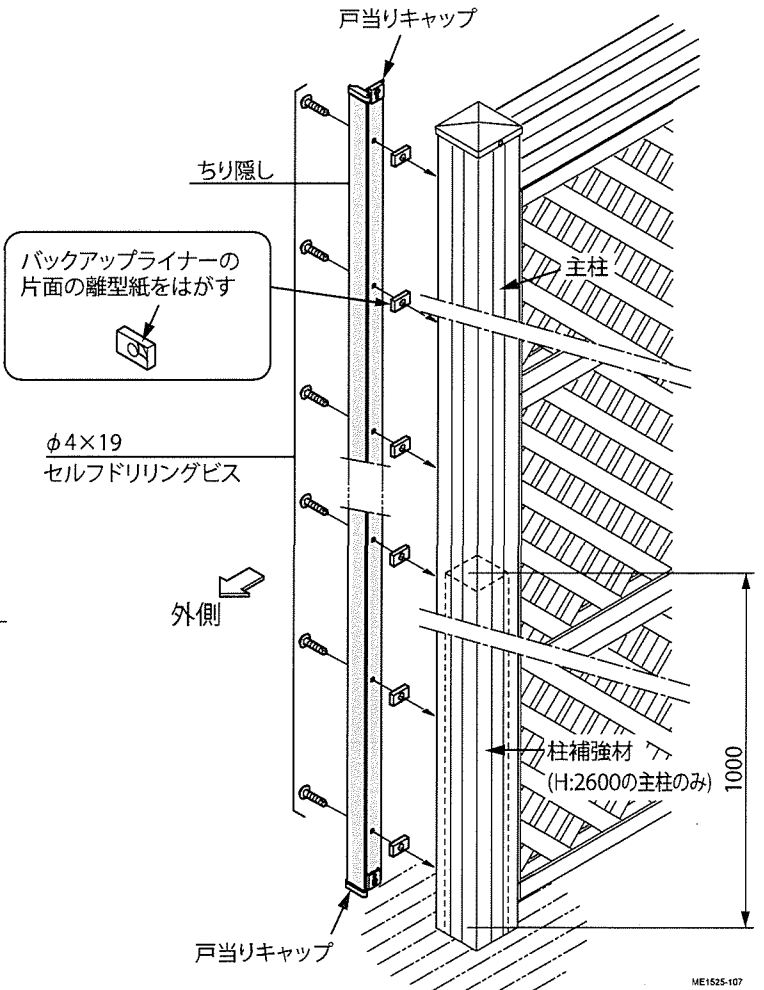
●下図のような「90° 出隅コーナー」の場合、スクリーンパネルの支柱にちり隠しを取付けてください。



ME1525-106

- ①バックアップライナーの片面の離型紙をはがし、接着面をちり隠しに取付けてください。
- ②セルフドリリングビスで、ちり隠しをスクリーンパネルに取付けてください。

👉 H:2600の支柱には、GLから1000mmの位置まで柱補強材があります。この位置にビス止めする場合は、φ3.5mmの下孔をあけてください。



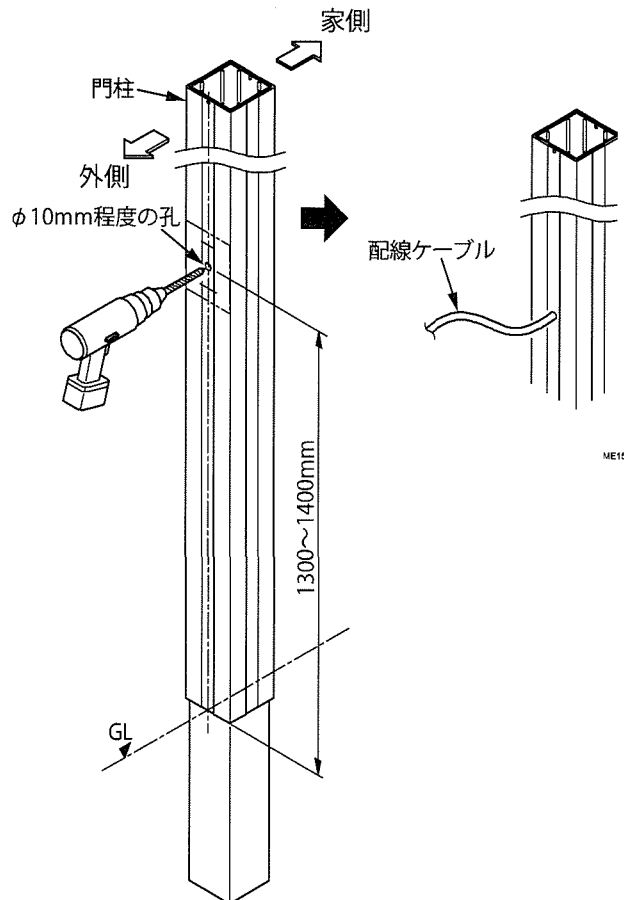
ME1525-107

1-3 インターホンの取付け (※現場手配)



- 「JIS1 個用スイッチボックス対応品 (露出型)」のインターホン (市販品) を現場手配してください。
- 全巾は 100mm 以内のインターホンを使用してください。

①右図の位置 (GL から 1300 ~ 1400mm) に、
φ 10mm 程度の配線用孔をあけて、配線ケーブル
を引出してください。



ME1525-103

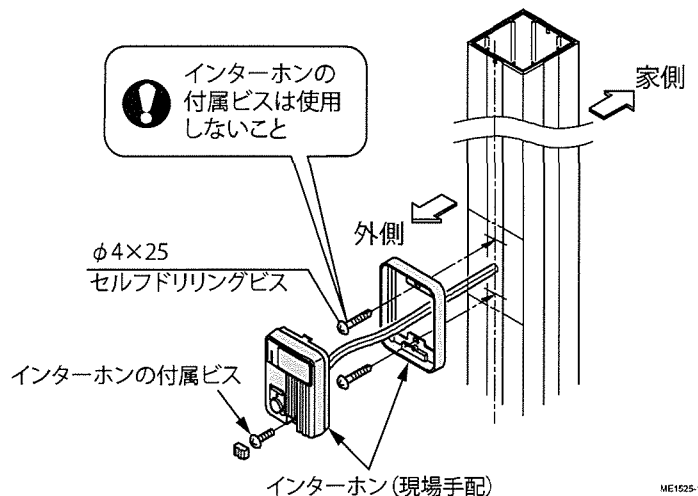
②インターホン子機 (現場手配) を門柱に取付け、結線してください。



門扉取付柱に梱包されている、φ 4 × 25 セルフドリリングビスを使用してください。



結線についての詳細は、インターホンの説明書を参照してください。



ME1525-104

2

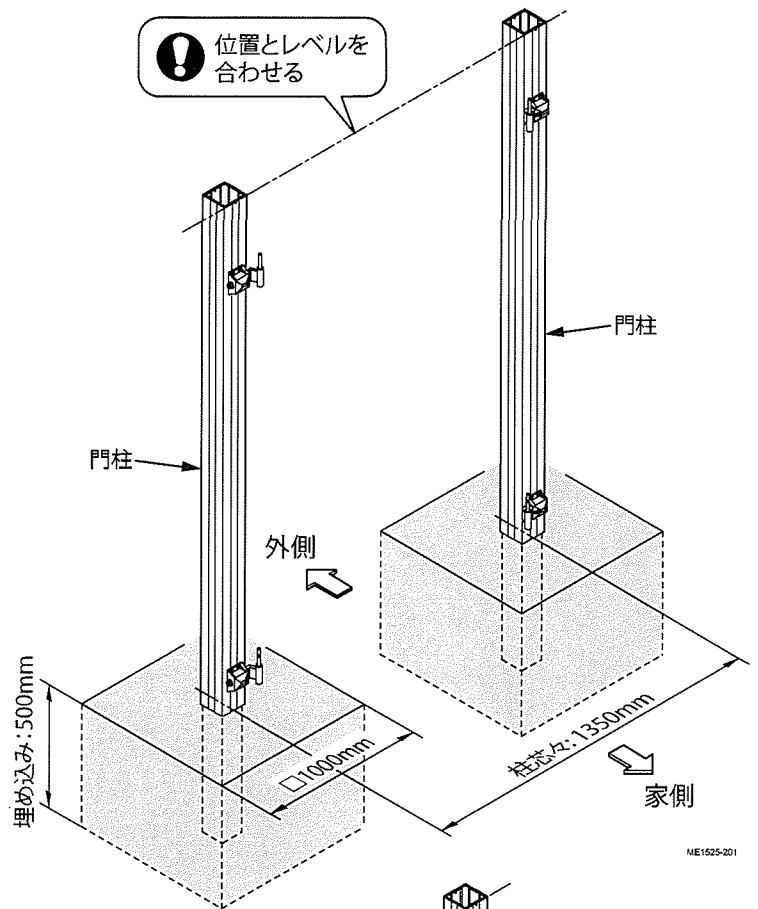
門柱の設置

- 「納まり図」で巾や高さ寸法を確認してください。
- ヒンジを家側にして、門柱を設置してください。

①「納まり図」で門柱の埋め込み位置や高さ寸法を確認し、門柱を設置してください。

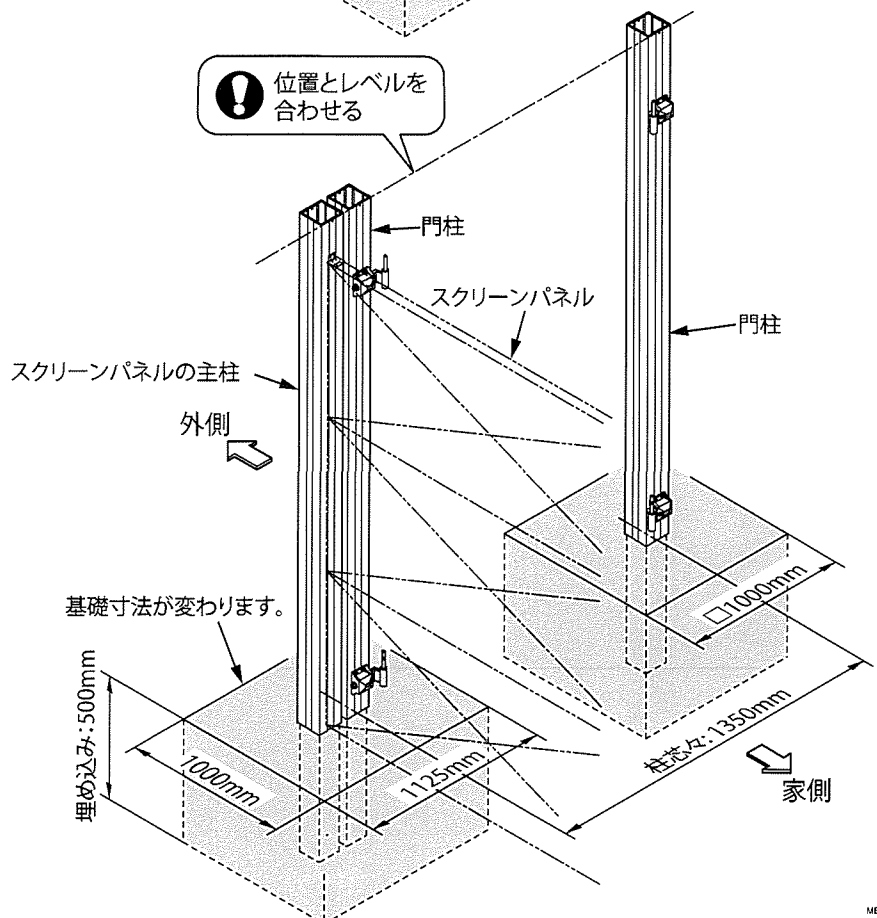


レベル合わせを正確に行い、門柱を埋め込んでください。
 ※レベルが合っていないと、門扉が吊り込めなかったり、施錠不良の原因になります。



ME1525-201

■ 90° 出隅コーナーの場合



ME1525-202

3

機能付袖扉の組立て

3-1 たて型ポストの取付け



ポストを取付けると、通常の門扉に比べ開き角度が制限されます。取付前に、納まりを確認してください。

①ポスト両面のポンチ位置に、φ 5mm の下孔を4ヶ所あけてください。



取出し口扉側のみ、下孔をあけてください。(片面2ヶ所、計4ヶ所)

②ポストから取出し口扉を取外してください。



取出し口扉の取出し口扉バネ(上下2ヶ所)を押し下げて、取出し口扉軸を外してください。

③ポストから取出し口を取外してください。

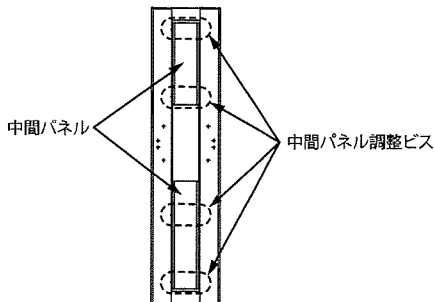


取出し口裏側のシーラーは外さないでください。

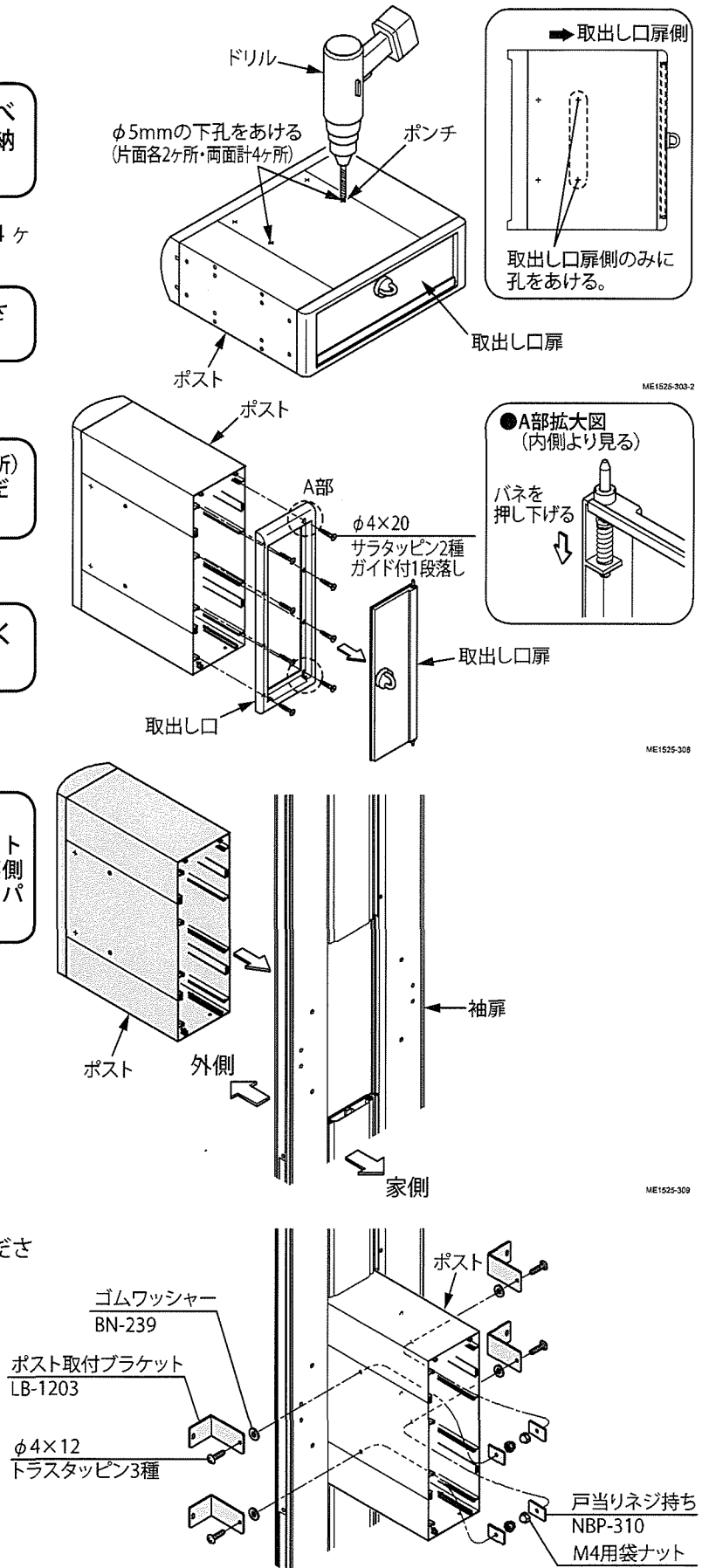
④ポストを袖扉にはめ込んでください。



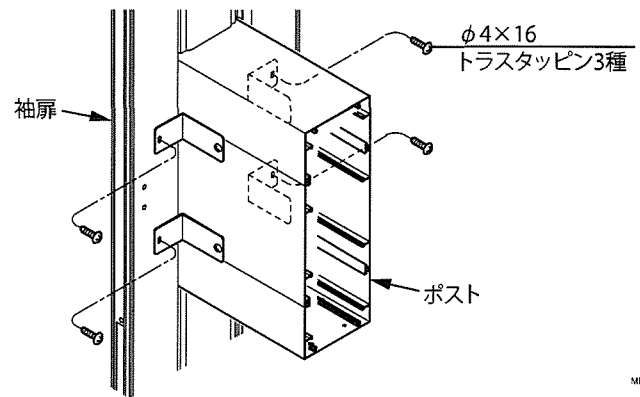
- ポストを外側からはめ込んでください。
- ポストが入りにくい場合、またはポスト挿入後に隙間が見える場合は、袖扉裏側の中間パネル調整ビスをゆるめ、中間パネルを上下に動かしてください。



⑤ポスト取付けブラケットをポストに取付けてください。

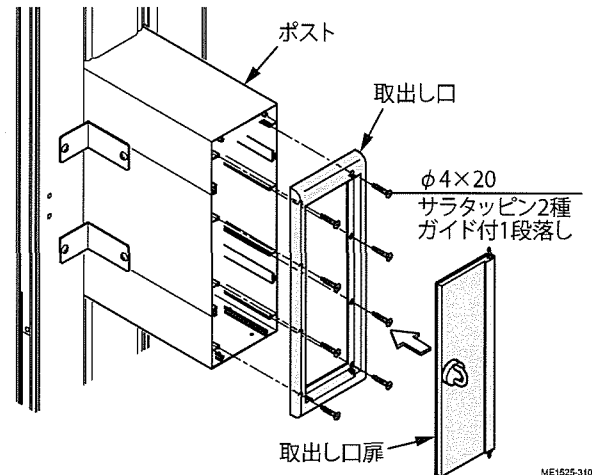


⑥ポストを袖扉にビス止めしてください。



ME1525-305-2

⑦取出し口および取出し口扉を再度ポストに取付けてください。



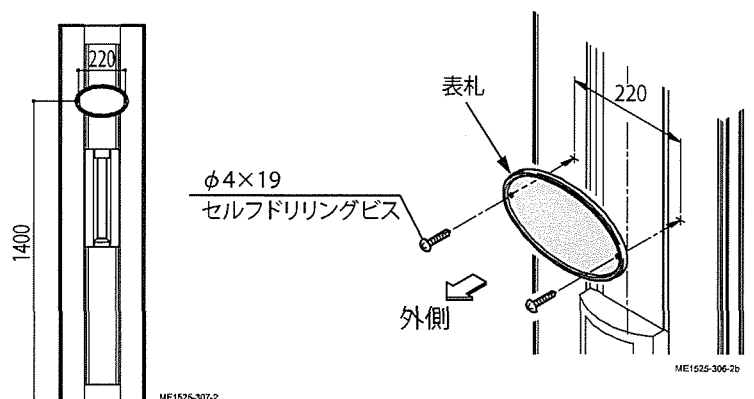
ME1525-310

3-2 表札の取付け



表札を取付ける前に、表札シールを貼付けておいてください。

①表札を扉に取付けてください。



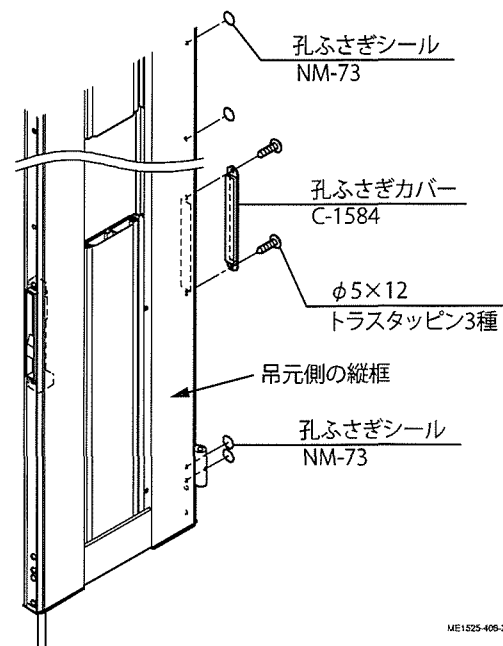
ME1525-307-2

ME1525-306-2b

3-3 孔ふさぎカバーの取付け

①吊元側（落とし棒の反対側）の縦框に、孔ふさぎカバーと孔ふさぎシールを取付けてください。

※落とし棒を付替える場合は、6ページを参照してください。



ME1525-406-2

4

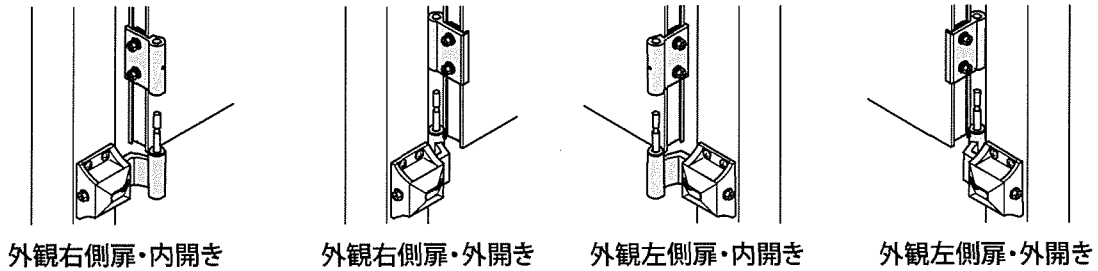
門扉の吊り込み

4-1 ヒジツボと持ち送りの向き確認

- 5ページの「開きの確認」を参照して、ヒジツボの向きを決めてください。



ヒジツボと持ち送りの向きに注意してください。



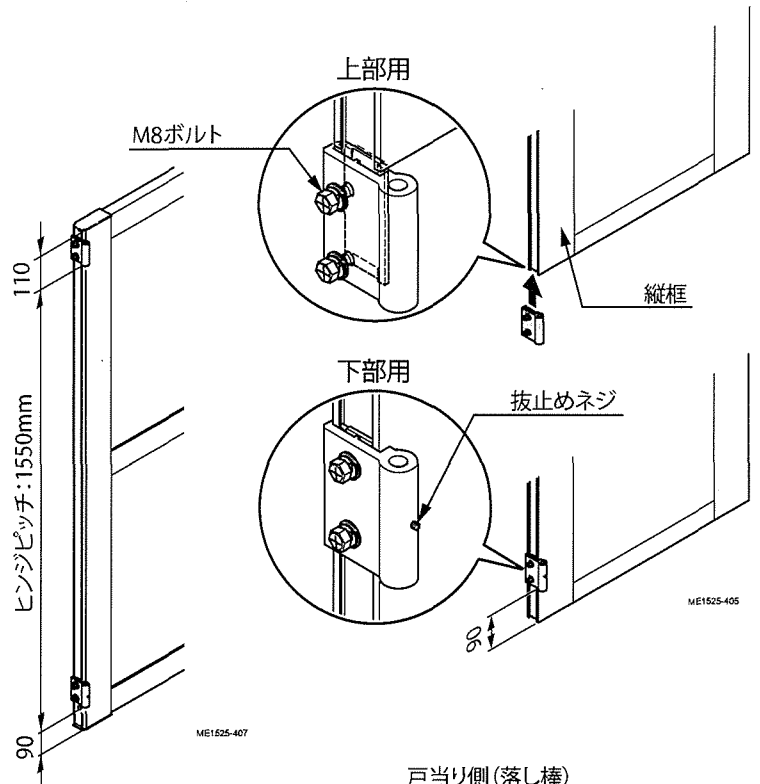
ME1525-404

4-2 ヒジツボの取付け



- ヒジツボは、工場出荷時に仮組されています。
- 下部用ヒジツボには抜止めネジがついています。
- 上部用・下部用を間違えないようにしてください。

- ① ⊕ドライバーでボルトを少し緩めてください。
- ② 扉本体の縦框のミゾにヒジツボを挿入し、任意の位置に仮止めしてください。

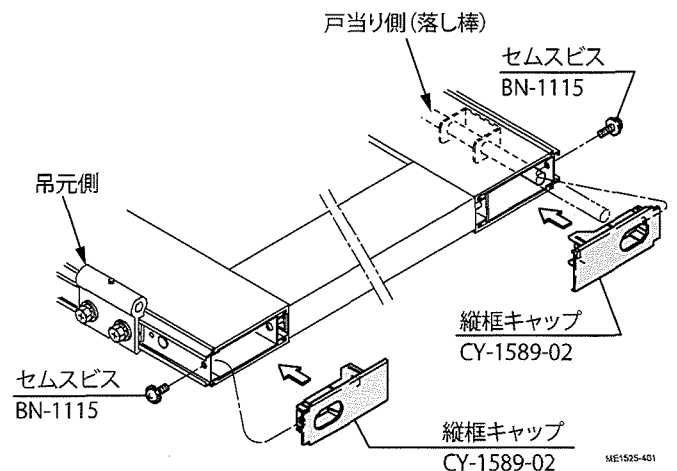


ME1525-407

ME1525-405

4-3 縦框キャップの取付け

- ① 縦框キャップを門扉下部に取付けてください。



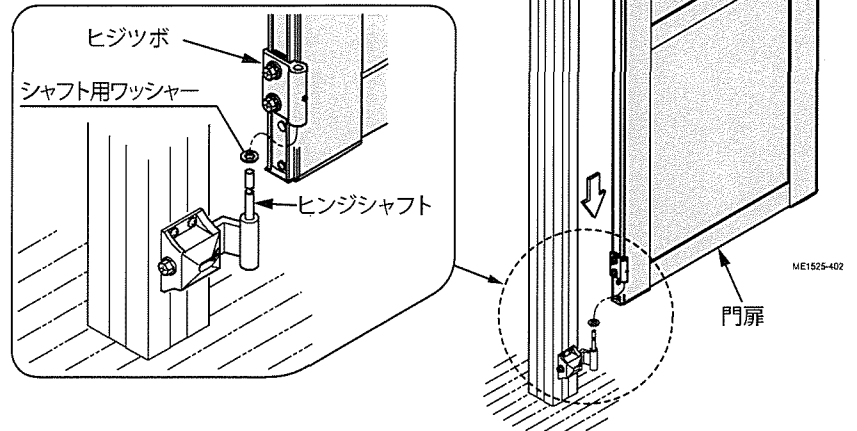
ME1525-401

4-4 門扉の吊り込み

①ヒジツボをヒンジシャフトに挿入してください。

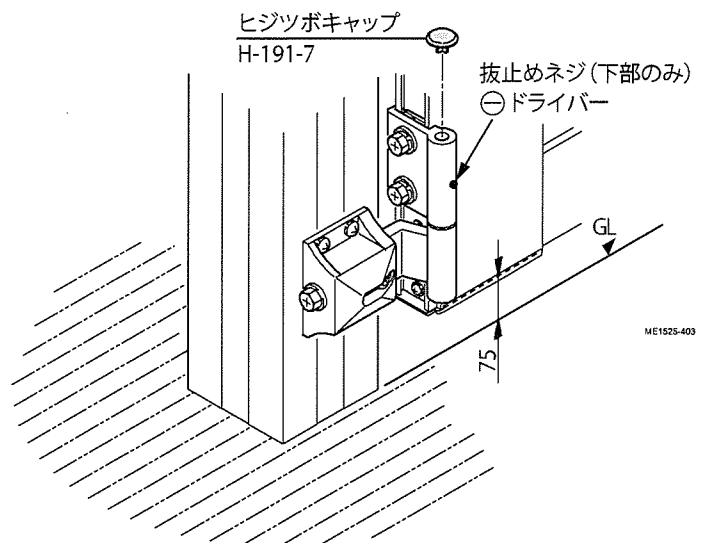


下部のヒンジシャフトが長くなっているの
で、下部を先に挿入すると、作業が楽に行
えます。



②門扉と GL が 75mm であることを確認し、抜止めネジを締付けてください。

③ヒジツボキャップをヒジツボに取付けてください。



4-5 ヒンジの調整

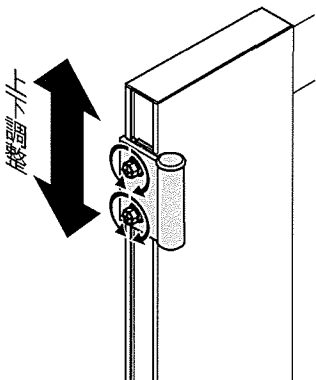
●各基準寸法および門扉の水準などがそろっている
か、確認・調整してください。



電気ドライバーなどで、ボルト・ビスを
無理に締め付けしないでください。
※破損の原因になります。

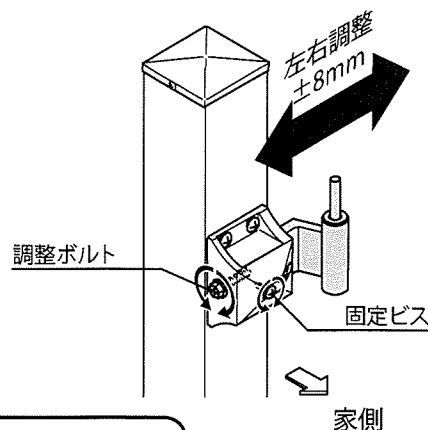
●上下調整

ヒジツボのボルトを緩めて調整
してください。



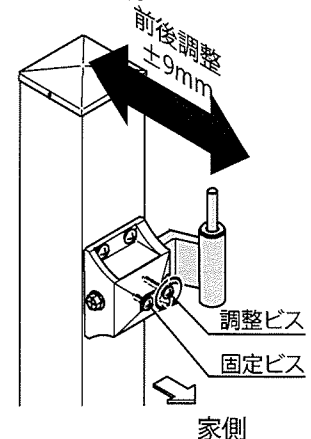
●左右調整 (調整巾±8mm)

固定ビスを緩め、調整ボルトを
まわして調整してください。



●前後調整 (調整巾±9mm)

固定ビスを緩め、調整ボルトを
まわして調整してください。



調整完了後、ボルト・ビスを締め付け、
ヒンジを確実に固定してください。

5

吊り込み後の作業

5-1 錠の取付け

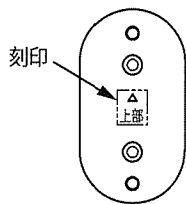
●錠の取付けについては、錠に梱包されている「形材門扉用内掛錠」の取付説明書 [ME-1316] を参照してください。

■機能付袖扉の場合

①錠受けブラケットと受け側錠を、扉に取付けてください。

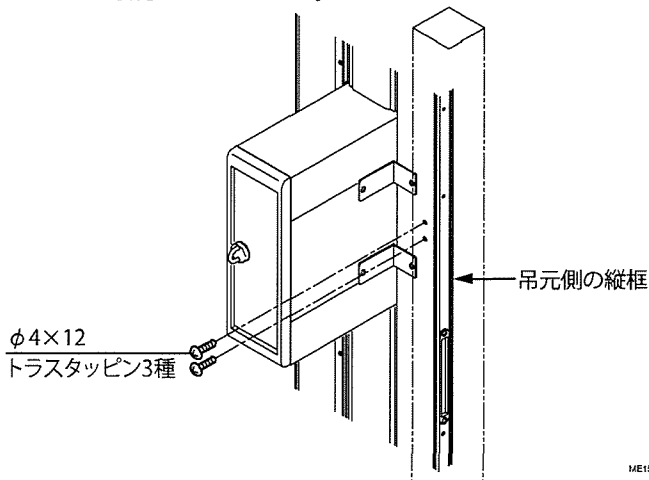


錠受けブラケットの「△上部」の刻印を上にしてください。



ME1525-511

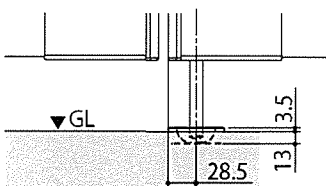
②吊元側（受け側錠を取付けない側）の縦框に、捨てビスを取付けてください。



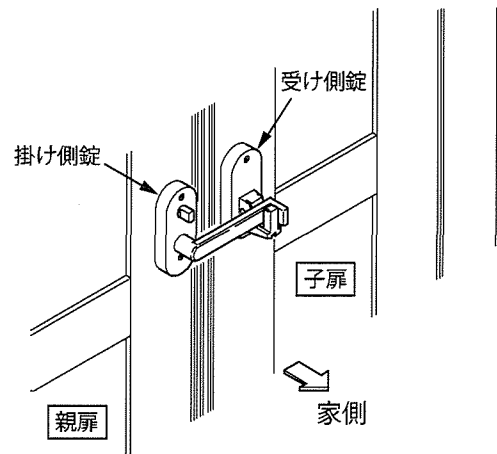
ME1525-512-2

5-2 落とし受けツボの埋め込み

①子扉または機能付袖扉の落とし棒の位置に合わせて、落とし受けツボを埋め込んでください。

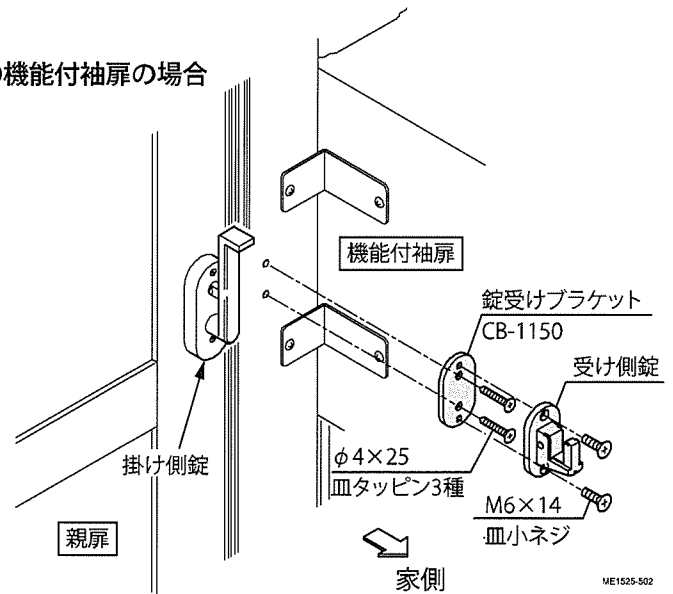


ME1525-513

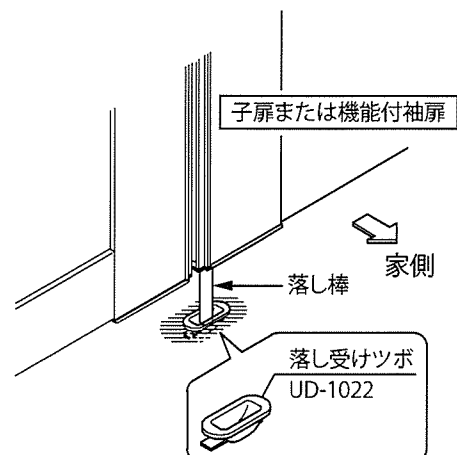


ME1525-501

●機能付袖扉の場合



ME1525-502



ME1525-503

5-3 戸当りの取付け

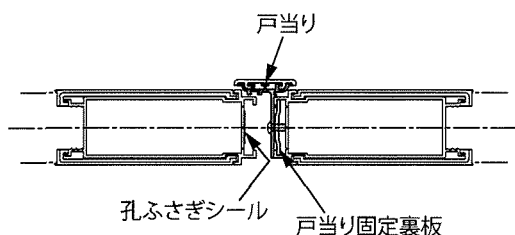
①孔ふさぎカバーを門扉に取付けてください。



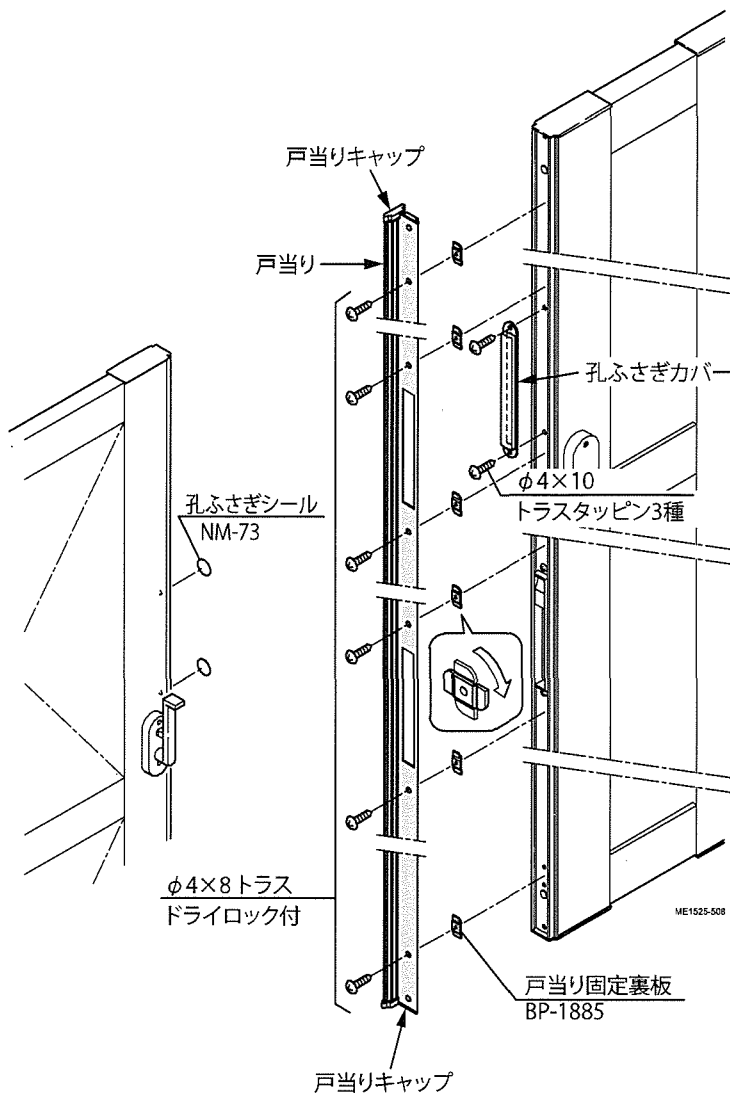
戸当りには勝手があります。

②勝手を確認後、戸当り固定裏板を使用して、戸当りを門扉に取付けてください。

③戸当りを取付けないほうの扉に、孔ふさぎシールを取付けてください。



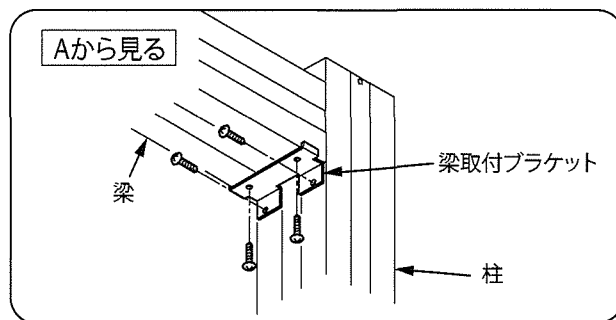
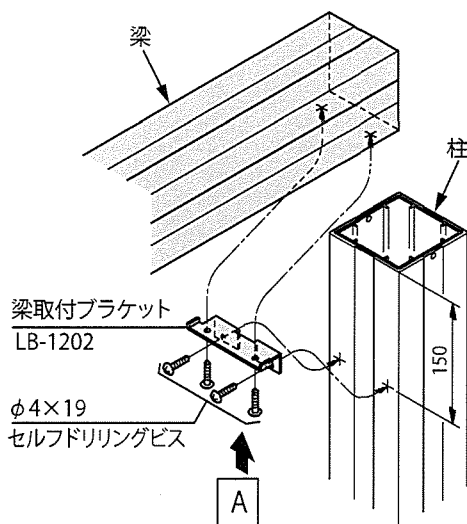
ME1525-509



ME1525-508

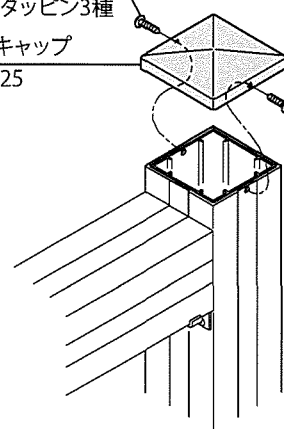
5-4 梁・門柱キャップの取付け

①下図の位置に、梁取付ブラケットを使用して、梁を門柱に取付けてください。



φ4×16
トラストタッピン3種
門柱キャップ
NK-125

②門柱キャップを門柱に取付けてください。



ME1525-504

6

落とし棒の操作

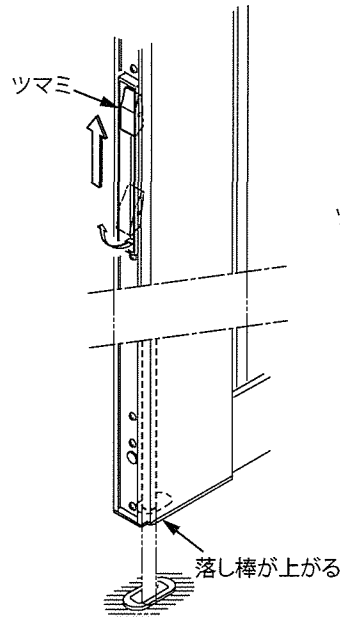
■落とし棒を上げる

ツマミの下側を持ち上げ、上へスライドさせると、落とし棒が上がります。

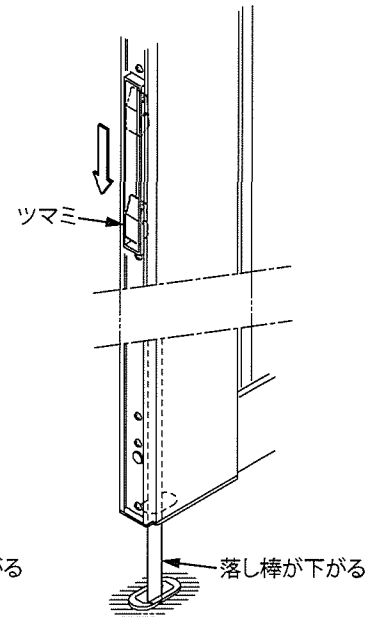
■落とし棒を下げる

ツマミの上側を押して、下へスライドさせると、落とし棒下がります。

●落とし棒を上げる



●落とし棒を下げる



ME1525-600

施工工事店様、販売店様へのお願い

- 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この取付説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施 工 完 了 日	年 月 日
施 工 工 事 店	TEL () -
販 売 店	TEL () -
商 品 名	
そ の 他	